

使用説明書

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。



**タブレットはたべものではありません。
幼児の手の届かない所でお使いください。**

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の生え際・顔・首筋等に、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツ等の症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかず、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重いアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

▲ 使用上のご注意

1 次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、けん怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には、下記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト薬剤塗布後30分くらいおよび48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化により

- かぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪をいためたり、色落ちしたりすることがあります。

3 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、ただちに使用してください。
- ② 換気の良い所で使用してください。
- ③ 必ず適切な手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、ただちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、ただちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。

- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、ただちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。

5 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や湿度の高い所、直射日光を避けて保管してください。

他に守っていただきたいこと

- ① 幼児には使用しないでください。
- ② 公衆浴場等でのご使用は、汚れなどで周囲のご迷惑になりますので、ご遠慮ください。
- ③ 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁、洗面台、鏡等に付着すると色が落ちませんので、充分ご注意ください。
- ④ パーマントウェーブをかけた髪にヘアカラーをすると、ウェーブが緩むことがありますのでご注意ください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

毎回必ず、染める2日前(48時間前)にパッチテストをしてください。

箱の中に入っているもの



計量器



タブレット
(パッチテスト用)

※5包のうち1包をパッチテストに使用してください。

ご自分で用意するもの



ティッシュペーパー等



綿棒



カップ等

※金属製は使用しないでください。

- ① タブレットの約1/4相当を取り出し、計量カップに入れます。
※封閉する際は袋の端を持ってあげてください。
- ② 計量カップの1/3の高さの水を加えて溶かし、混合薬剤を作ります。
※残りのタブレットは次回のパッチテスト用に密閉して湿気のない場所に保管ください。
- ③ 混合薬剤を、綿棒で腕の内側に10円硬貨大にうすくぬります。
- ④ 自然に乾燥させ、そのまま触れずに48時間放置します。
※時間を必ず守ってください。
●ぬった部分が30分くらいしても乾かない場合は、ティッシュペーパー等で軽くふき取ってください。
●混合薬剤をぬった所は絆創膏等で覆わないでください。

- パッチテスト中は、入浴やシャワーをひかえてください。
正確な結果を得るためには、48時間のパッチテスト中に、テスト部位をぬらしたり、こすったり、シールを貼ったりしないことが必要です。
やむなくシャワー等する場合は、テスト部位をぬらさないようにご注意ください。
- ⑤ 30分後と48時間後の2回、テスト部位を観察します。
塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等、皮膚の異常があった場合には、手等でこすらないでただちに洗い落とし、ヘアカラーはしないでください。
途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、ただちにテストを中止し、混合薬剤を洗い落としてヘアカラーはしないでください。
- ⑥ 48時間経過後、異常がなければヘアカラーをしてください。
※異常があった場合は皮膚科医の診療を受けてください。
また、製品についてはお問い合わせ窓口までご連絡ください。
※パッチテストの汚れが残っても、通常の入浴によって、自然に落ちます。

ご使用前の準備

箱の中に入っているもの



計量器



使用説明書



タブレット

※ 5包のうち1包をパッチテストに使用してください。

ご自分で用意するもの

●手袋



●汚れてもかまわないタオル

●ハケ等



●水をはじく油性クリーム

●シャンプー・コンディショナー等

●カップ等



●新聞紙等の敷物

●鏡

●時計

(金属製は使用しないでください)

●化粧ケープかタオル

●ティッシュペーパー等

- ① 汚れてもかまわない前あきの衣服を着てください。
- ② 化粧ケープかタオルで衣服をガードします。
- ③ 水をはじく油性クリームを、生え際、耳のまわり、えりあしにぬります。
混合薬剤が皮膚についても落としやすくなります。
※油性クリームが髪につくと染毛効果が弱くなります。
- ④ メガネ、コンタクトレンズ、アクセサリ等はずします。
- ⑤ 新聞紙等を、床や洗面台等に敷いてください。
※特に、衣服、たたみ、じゅうたん、壁、家具等に混合薬剤がつくと色が落ちませんので、ご注意ください。
- ⑥ 必ず手袋をはめてください。



注意

- 寒い所では染まりにくいので、室温20～30℃の場所でお使いください。
- 乾いた髪に使用し、染毛中の入浴は避けてください。
- シャンプーは、染める前日までに済ませてください。
髪の汚れがひどいとき、整髪料を多めに使用しているとき、一時着色料や金属粉等が髪についているときは、充分に洗い流してください。
[やむをえず、染める当日にシャンプーする場合]
○地肌を傷つけないように、ていねいに洗ってください。
○髪をよく乾かしてください。髪がぬれていると、薬剤がたれたり、染まりが悪くなる場合があります。

ご使用の手順

ご使用前に必ず**反対の面**もお読みください。



注意

**タブレットはたべものではありません。
幼小児の手の届かない所でお使いください。**



使い方動画は
ここからチェック



1 薬剤を作ります

推奨使用量 用途に合わせて量を調節いただけます。

染める部分	タブレットの量	水の量
根元の気になる部分	1粒	計量器 1.5 杯
根元全体	2粒	計量器 3 杯
ショートヘア	4粒	計量器 6 杯

- ① 染める髪の量に合わせて、タブレットをカップ等に入れます。
次に添付の計量器を使って上記の割合で水を加え、**タブレットの発泡が終わるまで10秒ほど待ちます。**

※開封する際は袋の端を持ってあげてください。

※タブレットの欠け・割れがあっても品質には問題ありません。

使用する際は欠け・割れの部分も全て溶かして使用してください。



- ② 発泡したタブレットをつつくように溶かし、
ダマが無くなるまで混ぜます。



- ③ 混ぜ終わったら粘り気が出るまで**1分ほど**待ちます。

2 新しく伸びた部分に薬剤をたっぷりぬり、よくなじませます。



※薬剤が目に入らないよう
注意してください。

3 放置します。

放置時間 30分

4 よくすすぎ、シャンプーを2回しっかりします。 コンディショナー等で仕上げ、よく乾かします。

※汚れてもかまわないタオルでふいてください。



注意

- すすぎ湯が目に入らないようご注意ください。
- すすぎ湯が壁や浴槽等につくと汚れる場合があります。
髪をすすぐ前に、浴槽やタイル等をぬらしておく
と汚れが落ちやすくなります。

使用後のご注意

- 次のような場合は、衣類、帽子、枕カバー等に色移りすることがありますので、ご注意ください。
○ 髪がぬれているとき(汗をかく、雨にぬれる、洗髪後等)。
○ 整髪料や育毛剤等を多量に使用したとき。
○ ヘアカラー後のすすぎ等が不充分なとき。
- 再度ヘアカラー(ヘアマニキュアを除く)を使用する場合は、髪や地肌への負担を考え、1週間くらいの間隔をおいてください。